

あらゆる工業製品を
コーティング処理する
薄膜技術

株式会社 オンワード 技研

石川県
能美市吉原町ワ-13

1986年(昭和61年)設立
TEL 0761-55-0466

<http://www.onwardgiken.jp>



代表取締役
川島 清高

優れた薄膜技術と厳しい品質管理体制で、部品に対して高品質のコーティング処理を行っている。現在、1200mmまでの長尺部材に対する均一な成膜を可能にし、搬送用レールなどに利用されている。

顧客ニーズに合わせたオーダーメイド型のコーティング処理

目的、使用環境に合わせ、膜硬度、密着性、使用温度、平滑性、非親和性において最適なコーティング種類を選択し、顧客の求めるオーダーメイド型のコーティング処理を提供している。加工領域は幅広く、機械工具、部品金型といった工業用品のほか、プロゴルファーが使用するクラブヘッドにも利用されている。

DLC (Diamond Like Carbon) 膜によるコーティング技術

同社が開発したDLC膜によるコーティングは、耐摩耗性に優れ、低温加工が可能であることから、熱変形しやすい部品の加工にも適している。これまでなら不可能であった長尺部品の隅々にまで安定したコーティングが可能となり、加工限界寸法を1200mmまで拡大できたことにより、搬送用レールなどにこの技術が利用されている。

次世代が求めるコーティング処理を極めるために

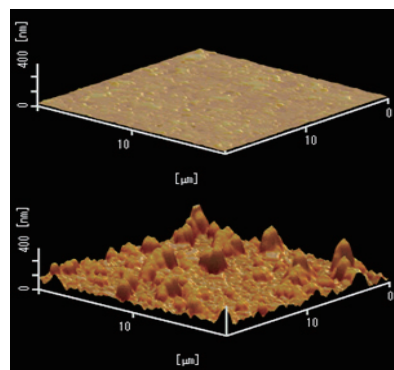
DLC膜の技術に加え、電子ビーム溶解法による多元金属膜生成技術(2~3種類の金属を使った多元金属膜をコーティングする技術)を世界で初めて開発した。従来のアーク蒸着法に比べ、電子ビーム溶解法による多元金属膜は、平滑かつ緻密であることから、これまで対応できなかった微細工具や精密金型へのコーティングを可能にした。



コーティングを施した工業製品



コーティング装置



上:電子ビーム溶解法による多元金属膜
下:アーク蒸着法による多元金属膜